記者発表資料

平成２４年５月１日
東北地方整備局

水防月間の主な取り組みについて

―― ５月１日～５月３１日 ――

国土交通省では、水害から国民の生命と財産を守るため、国民全般に水防の重要性の普及を図り、水防に対する国民の理解を深め、広く協力を求めることにより、水害の未然防止又は軽減に資することを目的に、５月を水防月間と定め、各種取り組みを実施しています。
東北地方整備局で、水防月間に市町村や県と協働で実施する今年度の主な取り組みは以下のとおりです。

◆ **洪水対応演習 【5月15日(火) 管内一斉に実施】**
洪水予測の実施、水防警報の発令、洪水予報の発表、ダム・水門など河川管理施設等の操作ルールの確認・遠隔操作、ＴＶ会議、緊急復旧工法の検討等、出水期に備え、大規模出水を想定した実践的な訓練を関係機関と連携して実施します。

◆ **最上川水防演習 【5月27日(日) 山形県南陽市･川西町】**
水防団・市町村・県・国が参加し、水防の重要性の理解と水災害に対する心構え並びに水防に対する意識の高揚を図ることを目的に、水防演習を実施します。

◆ **水防団と事務所職員による合同巡視 【管内各事務所で実施】**
洪水時に水防団が水防活動を行う上で注意を要する箇所について、水防団と河川管理者が合同で巡視するとともに、水防資材の備蓄状況の確認や意見交換を実施します。

◆ **施設点検 【管内各事務所で実施】**
出水期に備え、河川管理施設の点検を関係市町村や水閘門操作員と合同で実施するとともに、許可工作物の点検を施設管理者と合同で実施します。

水防月間とは

昭和61年の台風10号による出水の際における懸命な水防活動を契機として、水防活動が極めて重要であることが再認識されたため、昭和62年度から毎年出水期前の5月(北海道は6月)を水防月間とし、水防の重要性を国民に周知すること等を目的として各種の行事を実施しているものです。

＜発表記者会:宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会＞

＜問合せ先＞
国土交通省 東北地方整備局 (TEL:022-225-2171)(代表)
河川管理課 課長 山谷 博志 (内線3751)
河川管理課 洪水予測専門官 平葭(ﾀｲﾖｼ) 健作 (内線3522)

高めよう！防災意識
5月は水防月間です





羽越豪雨
S42.8





災害に備えよう！ みずから守ろう みんなの地域！



写真提供：山形新聞社

東日本大震災
H23.3.11





主な実施内容 見学無料

最上川流域市町等 水防団による水防工法訓練

●シート張り工　●木流し工
●月の輪工　●釜段工
●積土のう工　●杭打ち積土のう工

東北６県水防団による 東北水防技術競技大会

●シート張り工　●月の輪工
南陽市消防団・青森市浪岡消防団・奥州市消防団
涌谷町消防団・能代市消防団・郡山市消防団

東日本大震災を教訓にした 総合的な訓練

●住民の皆さんによる避難訓練
●テックフォースによる支援活動訓練
●自衛隊ヘリによる緊急輸送訓練
●消防・警察・日赤による救助救護訓練
●協定企業による支援物資輸送訓練



同時開催【防災展】

●最上川の水害パネル展示
●東日本大震災パネル展示
●体験コーナー（降雨体験、水防工法体験ほか）
●災害対策の車両・機械展示コーナー
●参加機関による活動紹介
●地元の物産コーナー



それは、明日起こるかもしれない！……災害への備え、大丈夫ですか？

最上川水防演習

とき●平成24年 5月27日(日)　8:30～12:30

場所◉南陽市宮崎・川西町洲島地先（最上川右岸河川敷）

主催
- **最上川流域19市町**
- **山形県**
- **国土交通省東北地方整備局**

南陽市・川西町・山形市・米沢市・寒河江市・上山市・村山市・長井市・天童市・東根市・山辺町・中山町・河北町・西川町・朝日町・大江町・高畠町・白鷹町・飯豊町

協力 山形地方気象台、陸上自衛隊第６師団第20普通科連隊、第６施設大隊、第６飛行隊、山形県警察本部、山形県南陽警察署、日本赤十字社山形県支部、(財)山形県消防協会、山形市消防本部、西村山広域行政事務組合消防本部、上山市消防本部、村山市消防本部、西置賜行政組合消防本部、天童市消防本部、東根市消防本部、置賜広域行政事務組合消防本部、東北電力(株)山形支店、東日本電信電話(株)山形支店、マックスバリュ東北(株)、(株)ヤマザワ、(株)ヨークベニマル、南陽市商工会、赤湯温泉旅館協同組合、山形おきたま農業協同組合、川西町商工会、山形県生活協同組合連合会 、NPO法人コメリ災害対策センター、(社)東北建設協会、山形県教育委員会、南陽市教育委員会、川西町教育委員会、山形県立米沢工業高等学校、南陽市立沖郷小学校、南陽市立梨郷小学校、川西町立吉島小学校、南陽市地区長連絡協議会、南陽市社会福祉協議会、南陽市東置賜郡医師会、吉島地区自主防災組織連合会、東沢地区自主防災会、大塚地区自主防災連合会、犬川地区自主防災会、玉庭地区自主防災組織連合会、小松地区自主防災連合会、中郡地区自主防災組織連合会、川西町赤十字奉仕団
（順不同）

後援 山形新聞・山形放送、読売新聞東京本社山形支局、朝日新聞山形総局、毎日新聞山形支局、産経新聞社山形支局、河北新報社、日本経済新聞社山形支局、時事通信社山形支局、共同通信社山形支局、株式会社米澤新聞社、米沢日報、置賜タイムス、株式会社荘内日報社、日刊工業新聞社山形支局、日刊建設工業新聞社東北支社、日刊建設産業新聞社東北支社、(株)日刊建設通信新聞社東北支社、(株)建設新聞社山形支局、(株)建設新報社、(株)東北建設工業新聞社、ＮＨＫ山形放送局、山形テレビ、株式会社テレビユー山形、さくらんぼテレビ、株式会社ケーブルテレビ山形、株式会社ニューメディア、株式会社エフエム山形、山形コミュニティ放送株式会社、VigoFM78.8MHz、山形県治水協会、山形県砂防協会、(社)建設広報協議会、全国水防管理団体連合会、東北ダム事業促進連絡協議会、東北直轄河川治水期成同盟会連合会、公益社団法人日本河川協会、一般社団法人日本建設機械施行協会東北支部、(財)河川情報センター、一般社団法人山形県建設業協会
（順不同）

・会場案内図・



国土交通省 東北地方整備局
山形河川国道事務所

お問合せ
〒990-9580 山形市成沢西四丁目3-55
TEL.023-688-8421（代表）
www.thr.mlit.go.jp/yamagata/

みんなの地域をみんなで守る！ 水防団員募集中！

水害を未然に防止し、被害を最小限に食い止め、私たちの生命や財産を守るため貴重な役割を果たすのが**水防(消防)団**です。
一人ひとりが力を合わせてこそ水防は成り立つのです。
現在、水防(消防)団員は、減少、高齢化が進んでおり、水防活動の充実を図るためにも是非ともあなたの力が必要なのです。
水防(消防)団員は、非常勤の公務員という身分を有しており、市町村等で手当て等が支給されます。
詳しく知りたい方は居住する市町村等にお問い合わせください。







水防活動の重要性をみなさんに理解していただくため、水防月間中には、様々な行事を全国各地で開催しています。皆さんの積極的な参加、見学を心よりお待ちしています。



求む!! 地域力

いざ！という時のために、水害への備えをしましょう。

日頃からの備えが、いざというときに必ず役に立ちます

事前の備え

避難場所、避難経路は事前に確認



- 安全な避難を行うためには、避難場所、避難経路を事前に確認しておくことが重要です。
- 洪水ハザードマップなどを活用して、どの避難所へどの道を使って避難するのか確認しておきましょう。
- 家族が離れているときの安全確認の方法を決めておきましょう。
- ハザードマップは以下のURLからご覧になれます。
  http://www1.gsi.go.jp/geowww/disapotal/index.html

非常時の持ち出し品は事前に準備



- 貴重品、衣類、非常用食品などを準備しておきましょう。
- 懐中電灯やラジオの準備も大切です。
- 避難時の荷物は必要最低限にしましょう。

台風などが近づいたら

気象情報や河川情報に注意



- 水害時に避難行動を取るためには、付近を流れる河川の水位の情報や雨量の情報、気象予警報、洪水予警報を把握することが重要です。
- 河川の水位が避難判断水位に到達することや、はん濫警戒情報の発令が、避難勧告発令の一つの目安であり、避難を判断するタイミングの目安になります。
- 浸水後の避難は非常に危険です。早めに避難しましょう。
- なお、河川の水位や雨量の情報は、テレビ、ラジオ、携帯電話、インターネットなどで入手できます。

国土交通省ではインターネット・iモードでも水害の情報を提供しています。

インターネット版 http://www.river.go.jp/
iモード版 http://i.river.go.jp/

◆平成24年度水防演習実施予定

演習名	実施日	演習名
利根川水系連合水防演習	5月19日(土)	利根川(右岸):埼玉県久喜市栗橋地先
土器川水防演習	5月20日(日)	土器川(左岸):香川県丸亀市垂水町地先
九頭竜川水系水防演習	5月26日(土)	九頭竜川(左岸):福井県福井市郡町地先
最上川水防演習	5月27日(日)	最上川(右岸):山形県南陽市宮崎地先及び川西町州島地先
信濃川・魚野川水防演習	5月27日(日)	信濃川(右岸):新潟県長岡市長岡地先
木曽三川連合水防演習・複合型災害防災実動訓練	5月27日(日)	長良川(右岸):岐阜県岐阜市雄総地先
旭川水防演習	5月27日(日)	旭川(左岸):岡山県岡山市中区西河原地先
宮崎総合防災訓練	5月27日(日)	大淀川(左岸):宮崎県都城市上水流地区
石狩川水系幾春別川水防公開演習	6月16日(土)	幾春別川(右岸):北海道岩見沢市北村幌達布地先

水防月間

洪水から守ろう みんなの地域

平成24年5月1日(火)～5月31日(木)
北海道は、平成24年6月1日(金)～6月30日(土)

主催：国土交通省、内閣府、都道府県、水防管理団体(市町村等)

後援：警察庁、防災庁、経済産業省、全国知事会、全国市長会、全国町村会、日本放送協会、一般社団法人日本新聞協会、一般社団法人日本民間放送連盟、日本赤十字社
協賛：全国水防管理団体連合会、公益社団法人 日本河川協会、全国治水期成同盟会連合会、(社)建設広報協議会、(社)全国海洋協会、(社)全国防災協会、(財)河川情報センター、全国建設弘済協議会

こうして守るみんなの地域 水防活動にご協力ください！

情報の伝達と把握

国土交通大臣もしくは都道府県知事は、指定された洪水予報河川について気象庁長官と共同して洪水予報を、指定された水位周知河川については、避難判断水位等の情報の通知等を行う。また、水害の発生が予想された場合、指定された水防警報河川については、速やかに「水防警報」を発令し、各地の水防本部から水防(消防)団、警察署、消防署、電力会社、鉄道会社、報道機関などの関係機関に連絡する。「水防警報」の段階には、

①待機 ②準備 ③出動 ④警戒 ⑤解除

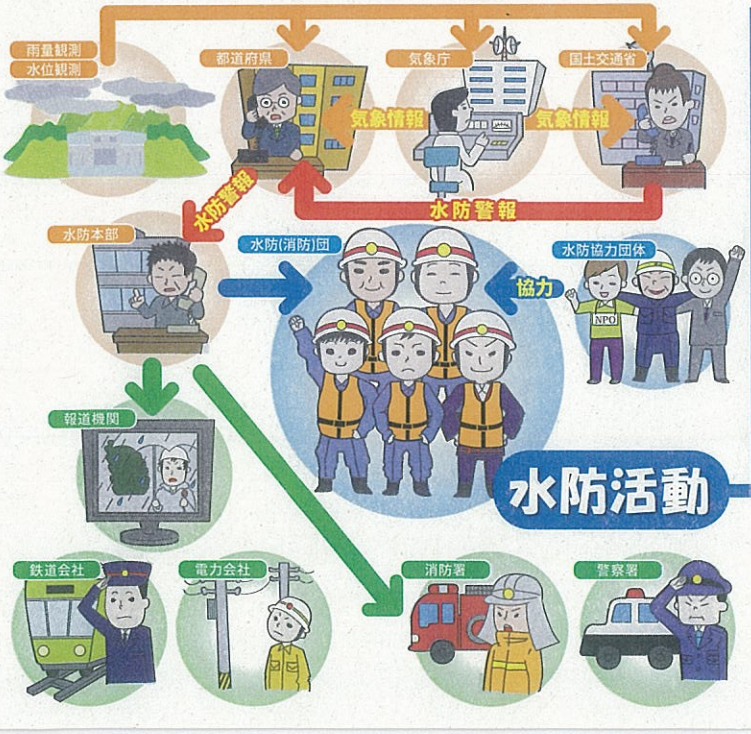
があり、その時の状況に応じた対策を行う。

「水防」って何だろう？

洪水などが起きたとき、人命や財産を守るため、その地域に住んでいる人々が様々な技術で被害を最小限に食い止めようと活動することを「水防活動」といいます。
水防活動は、みずからの地域をみずからの手で守るという基本的な考え方をもとに昔から実施されています。

水防活動は恐ろしい水害から安全な暮らしを守ります。

私たちの住んでいる日本は、雨量が多く、急な傾斜が多い等の条件により、常に洪水が発生しやすい危険性をもっています。
各地域では、昔から生命や財産を水害から守るため治水対策が行われていますが、多くの費用と長い期間が必要とされるので、まだまだ水害を根絶するにはいたっておりません。
そこで、機敏な対応で水害を未然に防ぎ、また被害を少なくする「水防活動」が自分たちの地域を守るうえで重要な役割を担っているのです。



水防警報(準備)発令



■水防倉庫、通信の点検
出動時に備え、水防倉庫内の資器材(土のう、縄、スコップなど)を点検し、連絡体制の確認を行い、水害に備えます。



■堤防巡視
危険箇所の早期発見とともに水防本部への現状報告をします。

日頃の訓練



日頃から万一の水害に備え、スムーズに水防活動を行えるように水防訓練を行っています。また、水防の技術的なリーダーの育成や水防技術の向上、若い世代への伝承のために水防技術講習会が催されています。

出動時

状況に応じて最適な水防工法を実施します。
堤防の決壊を未然に防いだり、水害を最小限に食い止めるのが目的です。



■積み土のう工法
堤防の上に土のうを積み上げて、水が堤防を超えるのを防ぐ工法です。水防工法の基本といえる工法で、1つの土のうには、20～30kgの土や砂が詰められ、さまざまな工法にも使用されています。



■シート張り工法
水の流れで堤防が削り取られたり、水が漏れたりしないように、防水シート(マット・畳・むしろ等)を張って堤防を守ります。



■木流し工法
水の流れがあるとき、枝葉のよく茂った木を川に流し、水の勢いを緩やかにして堤防が削られるのを防ぎます。



■月の輪工法
堤防の裏側に水が漏れだしたとき、半円形に土のうを積んで、川の水位と漏れた場所との水位の差を縮めて圧力を弱め、水漏れが広がるのを防ぎます。

非常時・緊急時

水害の危険が予測される非常時には、皆さんに水防活動への協力などをお願いすることがあります。

●水防活動がスムーズに効果的に実施できるように、水防活動へのご理解とご協力をお願いします。



■水防活動への協力要請
住民に対する協力要請があったときは、進んで水防活動に協力しましょう。



■緊急通行
緊急時には通路でなくても通行させていただくことがございます。



■公用収用
水防活動の現場で、一時的な土地の利用や、竹や木を使わせていただく場合があります。



■水防通信
緊急時には、水防関係者に電話などの通信設備を優先的に利用させてください。

■市町村等から避難を呼びかけることもあります。